

D. T. M (デスク・トップ・ミュージック)

1. 研究内容 作曲

2. 語句説明

(1) B P M (Beats Per Minute)

テンポの単位、一分間の拍数のこと。(Wikipedia 参照)

(2) D A W (デジタル・オーディオ・ワークステーション)

デジタルで音声の録音、編集、ミキシング、編曲など一連の作業が出来るように構成された一体型のシステムを指す。(Wikipedia 参照)

(3) M I D I (Musical Instrument Digital Interface)

電子楽器の演奏データを機器間で転送・共有するための共通規格である。(Wikipedia 参照)

(4) D T M (Desktop Music)

パソコンを利用して楽曲制作をおこなう音楽制作手法の総称である。一般的にパソコン上のミュージックシーケンサーで楽曲を制作し、音源モジュールやソフトウェア・シンセサイザーで発音・演奏する。(Wikipedia 参照)

3. 使用ソフト

(1) B a n d L a b (池本、石崎、河野)

(2) F L S t d i o (安永)

4. 内容

BandLab や FLStudio を用いて、一から作曲を行う。必要な音源は各自で入手し、それらをつなげて合わせて曲を作った。

5. 研究内容および感想

ジャンル：EDM BPM：150 時間：2分

研究内容

- ・ 1 学期 FLStudio、BandLab になれる
- ・ 2 学期 曲作り

感 想：これまで、課題研究をやってきました

がとても難しくて大変でした。

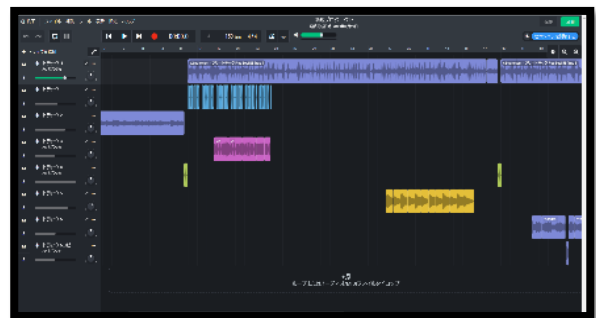
自分の予定では、一か月で終われる

予定でしたが3学期まで使う羽目にな

るとは思わず、音楽関係者の凄さを

身に染みてわかりました。この凄さは他の業界でも同じだと思います。

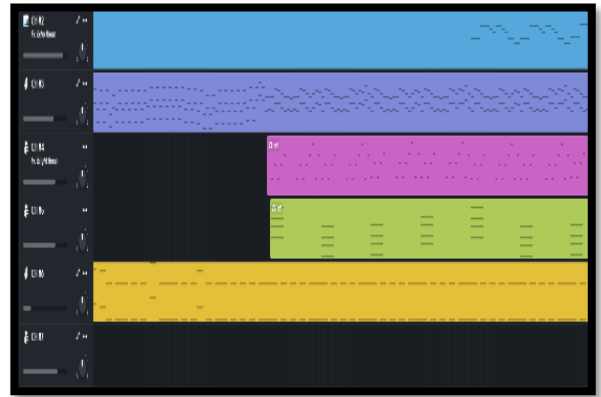
なので、社会に出てもこの気持ちを忘れず働きたいと思います。



ジャンル：trap BPM：150 時間：約2分

研究内容

- BandLab で元からある音楽のメロディを使ってオリジナルの音楽を作る
- 自分が作りたい音楽に合うようにベース・ドラムを打ち込む
- 細かい効果音を入れたり音にエフェクトをかける
- 曲の盛り上がる場所や目立たせたい部分などの音量を調整



感想：事前知識があったわけでもなく、思い付きで始めたようなものであった。
しかし、完成させることができたのでとても良かった。

ジャンル：Hard Core BPM：200 時間：2分37秒

研究内容

- 嵐の前の静けさのような前奏を作る
- 前奏後はキックメインで騒がしくし、所々別の音を入れたり拍子を変えたりした。
- サビ前に三種類の楽器、ピアノ、弦楽器を入れた。
- サビ部分はドラム音とメロディ音の調整

感想：何もわからないままフィーリングのみでここまで行けると思っていたので完成時の達成感が凄かった。



ジャンル：EDM BPM：130 時間：2分30秒

研究内容

- スネアロールの使い方を Zedd のビルドアップの組立を参考にした
- フリー音源使用

感想：中学生の時から作曲をしたかったのでDTMをした。
色々試行錯誤をして、気持ちのいい曲ができたので、とても満足をした。

